



ご家庭の分電盤。じつは、 こんな役割を果たしています

分電盤の中には、サービスブレーカー、漏電ブレーカー、安全ブレーカーなどがあり、電気容量チェックや屋内配線の安全確保などの役目をしています。

サービスブレーカー

契約電流以上の電気が流れると自動的に電気が止まるしくみになっています。（電気の契約容量を決定するために取り付けしている場合があります。）



安全ブレーカー 配線用遮断器

分電盤から各部屋へ電気を送る分岐回路に取り付けられています。電気器具やコードの故障でショートしたときや、使いすぎて過電流が流れた場合に電気を自動的に遮断します。



内側

漏電ブレーカー 漏電遮断器

漏電を素早く感知し、自動的に電気を遮断します。火災や事故を未然に防ぐためにもぜひお取り付けください。



漏電ブレーカーは、「中性線欠相保護機能付」を取り付けましょう!

単相3線式配線では、ごくまれにネジのゆるみや外れが原因で、電圧が不安定になることがあります。放置すると最悪の場合には、電化製品が故障するおそれがあります。このような事故を防ぐために、漏電ブレーカーは、「**中性線欠相保護機能付**」のものを取り付けましょう。

※照明が急に明るくなったり暗くなったりする時は、サービスブレーカーまたは漏電ブレーカーを切って中部電力パワーグリッド株式会社へご連絡ください。

漏電ブレーカーは、定期的に動作テストを

テストボタン（赤色、緑色または灰色）を押して、電気が切れば正常です。電気が切れるときに音がかかりますが故障ではありません。

